

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議 長	副 議 長	局 長	副主幹	主 査	担 当	担 当	文書取扱主任		

第 32 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成 25 年 12 月 11 日（水曜日）	開会 10 時 00 分	閉会 11 時 12 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	山口、山本、坂井、小野、三上、荒木	事務局	菊井事務局長
	委員外～清水、木下、窪之内		和田副主幹
欠席委員			村井主任主事
説明員	別紙のとおり	議 件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	（1）滝川市丸加高原健康の郷活用事業者の選定について（旧ひつじの館）		
	（2）石狩川河川敷パークゴルフ場市民説明会実施結果について		
	○ 滝川市公共施設マネジメント計画（案）について		
	2. その他について		
	なし。		
	3. 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することに決定した。		
	上 記 記 載 の と お り 相 違 い な い。 経 済 建 設 常 任 委 員 長 山 口 清 悦 ㊦		

平成25年12月10日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長
滝川市教育委員会委員長

前 田 康 吉
若 松 重 義

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成25年12月 3 日付け滝議第157号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願い申し上げます。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願い申し上げます。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部次長	五十嵐 千夏雄
総務部ストックマネジメント推進課主幹	高 橋 一 美
総務部ストックマネジメント推進課主幹	田 中 嘉 樹
総務部ストックマネジメント推進課主査	高 橋 伸 明
総務部ストックマネジメント推進課主事	平 沼 由峰子
経済部長	千 田 史 朗
経済部商業観光課長	浦 川 学 央
経済部商業観光課主任主事	常 盤 彰 彦
農政部長	若 山 重 樹
建設部長	大 平 正 一
建設部技監	高 瀬 慎二郎

滝川市教育委員会委員長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育部参事	庄 野 雅 洋
教育部社会教育課長	竹 谷 和 徳
教育部社会教育課主査	田 村 拓 也

(総務部総務課総務グループ)

第32回 経済建設常任委員会

H25.12.11(水)10:00～
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《経済部》

（1）滝川市丸加高原健康の郷活用事業者の選定について（旧ひつじの館）（資料）商業観光課

《建設部》

（2）石狩川河川敷パークゴルフ場市民説明会実施結果について（資料）社会教育課・土木課

○ 滝川市公共施設マネジメント計画（案）について

（資料）ストックマネジメント推進課

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第32回 経済建設常任委員会

H25.12.11 (水)10:00～

第一委員会室

開 会 10:00

委員長 ただいまより第32回経済建設常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員長 委員動静であります。委員は全員出席です。委員外議員として清水議員、木下議員、窪之内議員の出席を許可いたします。

1. 所管からの報告事項について

委員長 1、所管からの報告事項について、(1)、滝川市丸加高原健康の郷活用事業者の選定について(旧ひつじの館)の説明を求めます。

(1) 滝川市丸加高原健康の郷活用事業者の選定について(旧ひつじの館)

浦川課長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ありますか。

坂 井 2つの団体から提案があったということですが、差し支えなければもう一つの団体の事業内容をお聞かせいただきたい。

浦川課長 一応選定されなかったもので、名称と中身について詳しくはご説明できないのですが、同じくひつじの館を厩舎として観光乗馬を事業化したいという提案でした。ヒアリングさせていただいた中身としては、すごく丸加高原の魅力やその景観にマッチした事業であると評価はさせてもらったところなのですが、やはり今の現状を考えると事業規模が余りにも大き過ぎる、資金面、ノウハウ面、スタッフの確保という点で難があるのではないかとということで評価が低かったため選定されなかったところです。

委員長 ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。

(2)、石狩川河川敷パークゴルフ場市民説明会実施結果について説明を求めます。

(2) 石狩川河川敷パークゴルフ場市民説明会実施結果について

庄野参事 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ありますか。

坂 井 市民からの意見の内容で、若い世代、家族、休日、子供、こういったキーワードが意見の中に何点かあって、市民の中には子供と一緒に1日楽しめるような、もしくは若い世代が今後パークゴルフをすべく、そういうコースをつくっていただきたいというような意見がこれを見る限りはあると思いました。今後コース造成の事業を進めていく上で、こういった子供に対するパークゴルフ場の新たな造成といいますか、例えば公園みたいなものだったりとか、そういったことを、この意見を盛り込んで事業を行う計画というのはあるのかどうか伺います。

庄野参事 今の段階では、公園等子供たちが遊べるという機能をこのパークゴルフ場に付けるという考え方は持っておりません。パークゴルフそのものを家族で楽しむ、

そういうコースづくりをしたいと思っていますけれども、ご意見にもありますように、あるいは私たちも考えていますようにパークゴルフそのものが3世代で楽しめるスポーツと捉えていますので、そういうスポーツ、パークゴルフを通しながら家族のコミュニケーションあるいは地域のコミュニケーション、そういうものをとれるようなコースづくり、それも子供たちにも優しく、高齢者にも優しく使いやすい、そのようなコースづくりを進めたいと考えております。ほかに質疑ありますか。

委員長
三上

今回、市民から意見聴取をしたのですが、全体的に50人弱という人数だったようです。ところが、私が歩いている中で聞くには結構もっと話題性があるって賛否両論なのです。この50人弱という数字についてどのような感想を持たれているか、まず聞きたいと思います。

庄野参事

決して多い数字ではないと正直思っております。この団体、来ていただいた皆さんというのは、やはりパークゴルフを実際にプレーしているという方々が多くおりました。パークゴルフ協会ですとか、市老連ですとか、空知川のパークゴルフの利用者ということになります。そのほか幾つか町内会の利用者の方もいらっしゃいました。そういう意味では、非常に多い数字ではないとは思っておりますけれども、ほかにも実は組織化されない中で利用されている方が非常に多いという実感を持っております。今後こういうパークゴルフのさらなる利用を図っていくという上では、もう少し利用団体、そういうところに加わっていただく、あるいはこのパークゴルフ場も利用者の皆さんの友の会のような、そのような組織化もまた必要ではないかなと。情報を共有していただけるような、そのような組織化の必要もあるというような感じで思っているところです。今後もいろんな団体がいらっしゃいますから、機会あるごとにまた声を聞かせていただければと思っております。

委員長
小野

ほかに質疑ありますか。

多少、三上委員が言ったことと重複するかもしれませんが、開催場所としてまちづくりセンターでやっていますけれども、知らない人が結構多いのです。50人弱の意見を聞いていますけれども、結果的には半分はもうやるからと諦めている人もいるし、逆に全然知らないという人もいるのです。だから、この後も何回かやるのかどうかということを確認したいのと、それから主な意見の内容で、例えば年金の人が利用できなくなるとか、こういうことがあるということは料金を安くしろという切実な思いが込められていると思うのです。家族設定などもしているのですけれども、例えばもうホールは72つくるということになったと思うのですが、タイムレコーダーを設置して1時間単位にしてくれというのは、本当にこれは料金を安くしろという基本のあらわれだと思うのです。だから、その辺の考えもまた改めてできるのかどうか、その辺をお聞きします。

庄野参事

開催の案内につきましては、道新、プレス空知、それからエフエムG's k y をお願いをして記事と同時に掲載をいただいたということがございます。また、幾つかの主要な団体については声をかけさせていただいて、参加をお願いしたという経過がございます。残念ながら決して多い数字ではないと思っております。こうした市民説明会という形については、今回実施をさせていただいたという形でまずは終わりということになりますけれども、さまざまな団体が活動をまた春先にしてまいりますので、実際に行われる工事に伴ってどんなコースになるのか、そういう話はいつでもまたお聞きできると思っておりますし、実

際に設計というよりも工事に当たって現場でさまざまな工夫がなされると思っていますので、その工事の中で可能なご意見についてはまたその都度お聞きする機会を持てればと思っています。

また、料金の関係については2年先ぐらいということになるとは思いますけれども、その間またいろいろな場所でいろんなそうしたご意見を伺う機会も持ちたいと思っていますし、私たちも先ほど申し上げましたように料金については一定の枠組みというのを基本的な考え方、方針を持っております。まずは運営していけるかどうかということがあります。果たして今の料金で利用者が来るかどうかということもございます。私たちが推計した料金体系あるいは利用者の数値の中で、うまくこのパークゴルフ場が運営していければということがございます。それらを再度精査をする必要があるだろうと思いますし、それは料金体系をどのような形でつくっていけるかということにもなってくるのですけれども、今は36ホール、半日というようなイメージで500円という言い方をしていますけれども、それを4時間という形で今は提案をしています、それをうまく時間単位に分けていくと例えば100円とか150円とか、そういう料金体系が利用していただく皆さんには使いやすいというようなことがあれば、そういう柔軟な料金体系の考え方もとっていけるのではないかと思います。ただ、例えば4時間ということになりますと非常に使いづらいということはあると思いますけれども、4時間をうまく使っていただくと36あるいは54ホール回れる時間帯ではあります。そういう比較をしていただくことも必要だと思っていますし、多くの方は実は朝2時間ぐらいで軽く体を動かして、そしてきょうは終わりですよという方も大勢いる。それは、ふれ愛の里の利用の実態などを聞かせていただくと、そういう利用の仕方をされているということがございますので、もう少し4時間という物の考え方というのは柔軟な物の考え方ができるのではないかと。そういうこともまた皆さんにお諮りをする、提案していくということが必要ではないかと思っています。

委員長

ほかに質疑ありませんか。

清水委員外議員

清水委員外議員、どのような内容か伺います。

料金の検討をするということに当たって全体計画、特に指定管理代行負担金の計画との関係についてです。

委員長

ただいま清水委員外議員から質疑の申し出がありましたが、これを許可することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

委員長

それでは、2分間をお願いします。

清水委員外議員

やはり公共施設マネジメント計画が出てから市税をどう使うのかということが非常に徹底して緻密な議論を組み立てていかなければならないという中で、料金を下げるということは、人がふえれば総収入は変わらないけれども、結果的に指定管理代行負担金はどこまで出す予定があるのかと、どういう範囲で考えているのかということについて伺いたいと思います。

庄野参事

このパークゴルフ場の管理運営に関しては、委員会でもご説明をさせていただいたように当初3年程度は直営でという考え方で、一部業務委託という形をとらなくてはならないだろうと思っています。その1つは、指定管理に当たって代行負担金を積算をする、設計をするに当たって、この段階では設計がまだできないだろうと考えておりますので、3カ年の利用実績あるいは運営経費とい

うものをきちんと把握した上で適切な時期に指定管理に移したいという考え方を持っております。今の段階でどの部分をということについては、まだ詳細設計がされていないということでございます。それから、料金の関係でいえば、料金を下げるという考え方よりも使いやすい料金体系にしていけないかという考え方で整理ができないかと思っておりますので、例えば700円、500円というような金額を今試算しております。これは、15年間に渡って運営していく上で必要な料金と考えております。これをもう少し利用しやすい料金体系に細かくしていけることが可能なかどうか、そういうことでの視点でもう少し検討、柔軟な対応ができたらと思っております。

清水委員外議員

最初直営で一部委託と、そういう中でどれだけの予算を、運営管理に出す範囲というのは今でも持っていると思うのです。最低これだけ、上限これだけ、この範囲をどう圧縮していくかというか、そのようなことは私は聞いたのです。今公共施設マネジメント計画は、どんどん具体的になっていきますから、ここだけ1年後、2年後という話にはならない。トータルでやっぱり考えなければいけないと思うのですがいかがですか。

庄野参事

委員会でも示させていただいた資料の中で15年間の試算を行っております。その試算でいえば、総支出として人件費あるいは大会誘致、広報、啓発、改修あるいは管理そのものの物件費ですとか、そういうものがありますけれども、およそ2,000万円から二千二、三百万円、このあたりが経費として考えているところでございますので、この辺の精査ということになろうかと思えます。

清水委員外議員

料金を引いた数です。引いた金額は幾らになりますか。

庄野参事

引いた金額でいえば、ほぼとんとん感じになるという、基本的には利用料金というものをベースに考えていますので、その中で今計画の中で市が持つ部分ということがありますが、それは健康増進普及啓発事業も一部加えようという考え方があります。それから、全体を今草刈りをしていますけれども、その残りの部分、そういうものの草刈り委託というようなことをここに委託をするということがあれば大体200万円から250万円ぐらいは、差し引いた金額ということになりますので、1,800万円、1,900万円ぐらいの範囲、そういうところになるというざっくりとした数字になりますけれども、その辺が指定管理代行負担金の基礎的な数字になっていくのかなと考えています。

清水委員外議員

料金を差し引いて、その他は別として、マックス経営計画より悪いとき、どの程度まで市が出すという腹づもりがあるのかということを知りたいのです。

庄野参事

今試算している中では、健康増進の啓発事業あるいはパークゴルフ以外の草刈り管理、それを基本に考えていると。大体200万円から250万円ぐらい、それが教育委員会として試算をした中での対応だと。これからその辺については予算協議ももちろんありますし、さらに運営管理費の試算、事業の内容というものを精査されていく中で決まっていくものになると考えております。

委員長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

所管の入れかえをしますので、暫時休憩いたします。

休 憩 10:28

再 開 10:30

委員長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

滝川市公共施設マネジメント計画（案）について説明を求めます。

○滝川市公共施設マネジメント計画（案）について

五十嵐部次長
高橋主査
委員長

（別紙資料に基づき説明する。）

（別紙資料に基づき説明する。）

説明が終わりました。

質疑ありますか。

坂 井

まず、公共施設マネジメント計画案のパブリックコメントの実施ということで、12月2日から募集期間が始まっているという報告をいただいたのですが、大体きょうで半分ぐらいが経過したわけですが、まず現段階でどれぐらいのご意見とございますか、ご提案が市民の方から来ているのかという状況と仮に最終的に12月20日の段階でそういった意見、ご提案が市民説明会も含めて少なかった場合も市民からの意見がこれで十分だということで計画を進めていくのかについて伺うのが1点と、公共施設の利用状況というところで滝川市はどれぐらいの利用率が妥当と考えているのかを伺いたいのが2点目と、21ページの遊休施設の取り扱いのところで定住人口の増加につながる機能などの誘致を目指しというところで、具体的にどういったものを考えているのかについて、3点伺います。

高橋主査

まず、1点目のパブリックコメントの状況についてでございます。各公共施設に置いてある意見募集箱については、現時点でまだ中身を確認しておりません。状況については把握をしておりませんが、ホームページ上で募集しているものにつきましては、きょう現在ゼロの状態でございます。提案が少なかった場合どうするかということでございますが、まずあすの説明会の状況を見ながら、その説明会の中でも来ていただいた方からいろいろなご意見をいただくことも考えております。また、その後の状況を見ながら進めてまいります。もしこのまま成案とした場合についても先ほど次長から説明いたしましたとおり、成案としてもまたその後の説明会も行なってまいりますので、そのような形で進めていきたいと思っております。

2点目の利用率についてでございますが、明確に滝川市としては施設の利用率がこの程度が妥当だという数値は検討はしておりません。ただ、1つはこれだけ余裕がございますので、集約化ができるものについては集約化ができるかということを含めて検討をしていきたいと考えております。

3点目の定住人口の増加につながる機能ということなのですが、全体としては地域活動の向上や地域福祉の向上ということでも例えばグループホームであったり、さまざまな福祉施設であったりということもございます。その中で、グループホームなども一つの定住人口の増加につながる施策でもありますし、その他民間の方々で何か有効な使い方があれば、そういったことも検討してまいりたいと考えているものでございます。

坂 井

1点目のパブリックコメントの実施というところで、今のところホームページではゼロ件ということと、あすの市民説明会を見ていろいろと今後判断していきたいということの回答だったのですけれども、これとは違うのですが、パークゴルフに関してのこういった説明会でもやはり人が集まっていないのです。そこで、こういったことを、あす実際どうなるかわからないのですが、そんなに多分集まるとは、私的な意見ですが、考えられないので、やはりそういった

ことをもっと広く市民に周知するために従来の方法ではない何かをもっと提案すべきではないかと考えます。その辺の見解について伺いたいのが1点と、公共施設の利用状況というところで、先ほど私の質疑ではどれぐらいの利用率が妥当と考えているのかというところで、文書を見る限りホールなどの利用率は比較的に高いものの、ほかの貸し室の利用率が低いことからというところで、高い低いというふうに具体的に文書が出ているところで質疑をしたのですが、答弁では特に利用率が高い低い、妥当の数字というのはわからないという、その辺整合性がとれていないのではないかと思います。この文書を見てそのような質疑をさせていただいたので、やはり市として妥当と考えている数字があるから、こういう高い低いという文書が出ているのではないかと思います。その辺をもう一点お願いいたします。

高橋主幹

まず、1点目のパブリックコメントでございますけれども、周知期間が非常にないという部分もあるのですけれども、報道機関を利用しておりますとか、ホームページ、それから最近では北海道新聞の中でも公共施設の問題について非常に取り上げていただいているというようなこともあって、そのあたりの中で周知をしているということでございまして、先ほどの答弁にもありましたとおり、あすの市民説明会なども利用しながら、それから各委員会に丁寧に説明をしながらご意見も伺いまして、そのご意見も含めて成案の中に反映をしていくということを進めていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

高橋主査

2点目の利用率の妥当性についてでございますが、これについては本当に妥当という数字の設定はございませんが、例えば25ページ目をごらんいただきたいと思うのですが、先ほどの文書のコミュニティセンターの体育館の稼働率が比較的高く、他の部屋が低いということについては、この図の4—1、4—2のグラフのとおり総体的に高い、総体的に低いと言っていることでございまして、妥当な数字というのは設定しておりません。

委員長
副委員長

ほかに質疑ありますか。

1点だけ考え方を伺っておきたいと思っております。今滝川の公共施設というのは、それこそ30年前ぐらいに都市づくりの計画で地域の住民の要望を聞きながら、いろんな施設をいっぱいつくってきたわけでありまして、それで、確かにその当時は10万人都市構想というものがありまして、それを目指していろんな市内の公共施設を順次つくってきたわけなんです。それで、時代の変遷の中で今人口減少という形でこのストックマネジメント計画が出てくるわけなのですけれども、やはりそのときに今いろんな施設を統廃合していくのだということがこの計画の中にもあらわれているわけでありまして、いざそれを実施計画に移すときにやはり地域住民の利便性とかいろんなことを考えていかないと、また1つ例えばどこかの施設をなくすといったときに地域住民や何かの抵抗が出てくると思うのです。その辺も滝川市全体を含めて、こういうことだからこうやって統合して利便性も下げないのだよというきちんとしたものがないと、将来例えばどこを1つ統合していくについても市民にきちんとした説明を求めないためではないかと思うのですが、その辺についての考え方を伺いをしたいと思っております。

五十嵐部次長

前段の経過等の中でもお話したとおり、今さまざまなご意見をいただきながらこの計画案を計画にしていって、進め方につきましては十分この計画の方針

にのっとりまして地域の方あるいは利用者、関係者、そういった方と十分協議をしまして課題解決を図り、地域の方あるいはその他利用者の方が納得いく形で進めていきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

委員長
三 上

ほかに質疑ありますか。

私は、以前に一般質問でもさせていただいておりますけれども、もうこうやって出してしまうと恐らく統廃合になるのかと、効率の悪いところは統廃合になるのかと市民の皆さんは思うと思うのです。ただ、滝川市のことを考えるとこれを1カ月でも早く進めていただきたいという思いがあるのです。ですから、ぜひ説得力を持って理解を求め、そういうことに努力していただきたいと思うので、その辺の決意を伺えればと思います。

五十嵐部次長

今回の議会の通告質問の中にも市長に決意を求めるようなご質問もありますけれども、きょうはかわりましてお話しさせていただきますが、先ほど高橋主査から計画案について説明をいたしましたけれども、滝川市の状況、かなり公共施設の数が多いと、面積も多いという状況であります。このような状況を一刻も早く市民の皆様へ情報を提供しまして、今後この計画案の中にも提案しておりますが、さまざまな機能を集約する中で公共施設の床面積を減らしていきたいというような形であります。施設から機能へというのがテーマになっています。これまでいろんな形で活動をしてきた方の機能まで奪うつもりは毛頭ございません。先ほどもご質疑があったとおり、施設の利用率についてもかなり低い状況ですので、統合をしても十分活動は継続できるというような状況も踏まえまして、地域の方、関係者とも十分話しまして積極的に進めてまいりたいと考えておりますので、議会の皆様もぜひご協力のほどよろしくお願いします。

委員長
小 野

ほかに質疑はありますか。

今山本副委員長も話していたのですけれども、恐らく一番問題になるのは人口減少だと思うのです。10万人どうのこうのだったものが人口がそれほどいかに、建物市長と異名をとった人もおりますけれども、その結果が今こういうふうな負担になってきているのです。行政の責任もあると思うのですが、行政の中で要するに主体が行政主体、コミュニティ主体、それから複合化になると思うのですけれども、その中で今委員会にて丁寧にご説明を申し上げますと言ったが、私は総務文教常任委員会も厚生常任委員会も出ているからある程度わかるのですけれども、単発でこれだけ出たら今の説明は決して丁寧ではないのです。全て全部めくって聞くということは、物すごく項目が多くなるのだけれども、もう終わってしまったからいいのですが、その中で自分が住んでいる西小学校の校区を読んでいるのですが、高齢化というのはこれは滝川市全体の問題なのですけれども、それが集約化されてそうなるのかと。各センターにこの資料が配付されています。この間、いきなりコミュニティセンターがなくなるのかというような質問されたのです。今の人はほとんど確認すると最初から最後まで全部読まないのです。自分の気になることだけしか大ざっぱにしか言わないので、その辺のこともあるのですけれども、今あれば教えてもらいたいのですが、全部のアンケートがありますよね。調査対象28施設のアンケートありましたが、どの程度だったのか、数字的に示していただきたい。

高橋主査

今のアンケートについて、72ページ以降記載があります。調査期間につきまして、4月15日から4月26日の2週間で対象施設28施設を対象として利用者にアンケートを、調査票を配付、設置、そして施設管理者の方にご協力いただきま

して回収したものでございますが、その結果として2,345票の総体の回答がございました。今ご質疑のあるところについては、西地区の公民館のことについてお答えすればよろしいでしょうか。

(何事か言う声あり)

高橋主査

全体ですね。それぞれ分野ごとにまとめているものが79ページ、85ページ、それと93ページにございますが、まず文化施設におきましては利用者属性としては女性60代以上が多かったということですか、利用形態についてもサークル利用が多く、また交通手段についてはほぼ過半が自家用車利用、またこれらの施設をなぜ使っているのかという利用理由についてはサークルや講座の開催場所であるということがメインとなっております。また、スポーツ施設につきましては利用者の性別は男女ともにさまざまでございますが、比較的若い方が多く、利用形態についても個人利用というのが花月地区児童センター、サンライフで多かったのですが、その他の施設ではサークルで使われている、ほぼ過半数が自家用車を利用しているというような結果も出ております。それから、コミュニティセンターについては、西地区コミュニティセンターを除きまして比較的女性の利用者のほうが多く、60代以上が主体であります。施設によっては若い方が使われているところもあります。利用形態については、サークルと町内会という利用がほとんどでございました。自家用車の利用がコミュニティセンターについても比較的多いのですが、ただほかの文化、スポーツ施設と比べますとやはり地域にあるコミュニティセンターについては徒歩の割合も総体的に高く、また利用理由についても家、職場等との近接性という理由も総体的に高いという結果が得られました。

小 野

データが出て今細かくご答弁いただいたのですが、言っている趣旨が、2,345票というのはわかるのですが、対象施設のアンケートの回収、例えば総合福祉センターで何通とか、その数、後でいいですから、お示しできれば提示ください。資料要求いたします。

委 員 長

資料要求の申し入れがありましたが、所管は用意できますか。

高橋主査

後ほど精査して情報として出したいと思えます。

委 員 長

委員会として資料要求することよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

それでは、提出よろしく願います。

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

それでは、報告済みといたします。

2. その他について

委 員 長

2、その他についてですが、委員の皆さんから何かありますか。

(なしの声あり)

委 員 長

事務局から何かありますか。

(なしの声あり)

3. 次回委員会の日程について

委 員 長

次回委員会の日程についてですが、正副委員長にご一任願えますか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

以上をもちまして第32回経済建設常任委員会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

閉 会 11 : 12